

第58回原子力委員会臨時会議議事録（案）

1. 日 時 1997年8月29日（金）9：45～10：55

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 伊原委員長代理、田畑委員、藤家委員、依田委員
通商産業省資源エネルギー庁
原子力産業課 土井、開発課 井上
原子力発電課 白井、原子力発電安全管理課 植田
原子力発電安全企画審査課 新川
（事務局等）伊藤原子力調査室長
池本専門委員
政策課 山野、丸山
廃棄物政策課 飯島
原子力調査室 松尾、杉本、新井

4. 議 題

- （1）平成10年度原子力関係予算ヒアリングについて
（科学技術庁、通商産業省 他）
- （2）原子力委員会専門委員の任命について
- （3）その他

5. 配布資料

- 資料1 第57回原子力委員会定例会議議事録（案）
- 資料2 原子力委員会予算ヒアリング時の質問事項に対する説明
- 資料3 平成10年度科学技術庁原子力関係予算概算要求
- 資料4-1 平成10年度通商産業省原子力関係予算概算要求のポイント
- 資料4-2 平成10年度通商産業省原子力関係予算概算要求の概要
- 資料5 原子力委員会専門委員の任命について（案）

6. 審議事項

（1）議事録の確認

事務局作成の資料1第57回原子力委員会定例会議議事録（案）が了承された。

（2）平成10年度原子力関係予算ヒアリングについて

（科学技術庁、通商産業省 他）

標記の件について、事務局より資料2に基づき、これまでの予算ヒアリング時の質問事項に対する説明がなされた。

引き続き、事務局より資料3、通商産業省より資料4-1及び資料4-2に基づき、説明があった。

これに対し、委員より

（科学技術庁に関して）

- ・ 動燃フロンティア研究の原研への移管については、これまでの進捗状況をよく検討して中途半端にならないように注意すべき
- ・ 国立試験研究機関のテーマは多数あるが、関連テーマの周辺領域などについて全体として連携を取りつつ、重要性を判断していかなければならない等の意見があった。

次に、委員長代理より、動燃東海事業所におけるウラン廃棄物管理問題は来週
の委員会で報告を受ける方向で調整してもらいたいとの発言があった。

(3) 原子力委員会専門委員の任命について

標記の件については、人事案件のため非公開で行うこととした上で、事務局より資料らに基づき説明がなされ、了承された。